

# 第2学年 国語科学習指導案

2組 計24人（男子10人，女子14人）

指導者 河原 千夏

- 1 単元 お話のじんぶつを自分とくらべて読み，手紙を書こう  
（教材「わたしは，おねえさん」光村2年下）

## 2 単元の目標

登場人物の気持ちの変容を豊かに想像しながら読み，その登場人物のしたことや言ったことについて自分と比べて書き，それを互いに読み合うことができる。

## 3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	C 読む能力	言語についての知識・理解・技能
自分たちと同じ年代の人物に宛てて，自分の体験や考えと結び付けた感想を手紙に書こうとしている。	<ul style="list-style-type: none"><li>物語の展開に即して，登場人物の行動を整理しながら読み，登場人物の気持ちの変容を豊かに想像しながら読んでいる。【(1)ウ】</li><li>登場人物のしたことや言ったことの中で印象に残った言葉や文について書き抜き，自分と比べて感じたことや自分がこれまでに経験したことを書いて，発表し合っている。【(1)エ・オ】</li></ul>	主語と述語の関係を正しく理解している。【(1)ウ】

## 4 単元を貫く言語活動

本単元を貫く言語活動として，「C読むこと エ 物語を読んで，自分と比べて感想を書く言語活動」の「くらべてみたよ，あなたとわたし」（手紙「くらべレター」）を書く活動を位置付けるようにする。このお手紙には，登場人物に宛てて，その登場人物と自分とを比べて感じたことや思ったことを書くようにする。

登場人物のしたことや言ったことについて自分の考えや体験と比べて手紙を書き，その手紙を友達と互いに読み合うという活動を位置付ける。そうすることで，子どもが「自分事の問い」をもって，主体的に教材文や関連する本を読んだり，学習したことを生かして自分の考えを表現したりすることができる考える。

## 5 単元について

### (1) 単元の位置とねらい

子どもたちはこれまでに，1学期教材「スイミー」の学習で，場面の様子を想像を広げながら読み，印象に残った言葉や文を書き抜く学習をしてきた。また，1学期教材「黄色いバケツ」の学習では，登場人物の行動に着目して人物の気持ちを読み取る学習をしてきた。さらに，2学期教材「お手紙」では，登場人物の行動と会話文に着目し，人物の気持ちの変化を読み取る学習を経験してきている。

そこで，本単元では「物語の登場人物と自分を比べて，自分だったらどうするだろう」という「単元を貫く『自分事の問い』」をもち，場面の様子や登場人物の行動を基に，登場人物の気持ちの変容について想像を広げながら読むことができるようにする。また，並行読書で読み進める本の中の登場人物と自分とを比べて，心に残った場面を選び，自分の感じたことや経験とを結び付けた手紙を書いて，感想を伝える能力を身に付けることができるようにする。

教材「わたしはおねえさん」には，子どもと同じ2年生のすみれちゃんが登場する。すみれちゃんの行動や彼女を取り巻く出来事を通して，すみれちゃんの心の成長を感じることができる作品である。本教材は，主人公の行動や気持ちと自分を比べながら，楽しく読み進めていくことができる内容となっている。「すみれちゃん」の気持ちを考えながら，自分の経験と重ね合わせて「わたしなら・・・」と自分と比べた感想をもつことに適した教材と考える。ここでの学習をきっかけに，同年代の主人公が登場する読みものを読み，豊かな読書体験へと結び付けていくことも期待できる。

ここでの学習は，人物の行動を中心に想像を広げながら読み，自分の感想を基に，あらすじを入れて物語を紹介する3学期教材「スーホの白い馬」の学習へとつながっていく。

(2) 子どもの実態（調査日 平成26年9月17日 調査人数24人）

本単元の内容に関わる子どもの実態については、以下のとおりである。（数字は人数）

<b>【調査1】 文学的文章を読むための知識・技能【登場人物の気持ちの変容の読み取る】</b>
登場人物の気持ちの変容を読み取ることができる (14)
登場人物の気持ちの変容を読み取ることがもう少しである (7) 無答(3)
<b>【調査2】 文学的文章を読むための知識・技能【登場人物の行動を読み取る】</b>
登場人物の行動を読み取ることができる(9) 登場人物の行動を読み取ることがもう少しである(12) 無答(3)
<b>【調査3】 自分の考えの形成に関する知識・技能【自分が感想をもった言葉や文を書き抜き、理由を書く】</b>
自分が感想をもった言葉や文を書き抜いて、理由を書くことができる(12)
自分が感想をもった言葉や文を書き抜いて、理由を書くことがもう少しである(8) 無答(4)
<b>【調査4】 自分の考えの形成に関する知識・技能【自分の生活経験と結び付けて感想をもつ】</b>
登場人物のしたことや気持ちを自分の生活と結び付けて感想をもつことができる(12)
登場人物のしたことや気持ちを自分の生活と結び付けて感想をもつことがもう少しである(5) 無答(8)

6 指導に当たって

(1) 「単元を貫く『自分事の問い』」をもたせるための単元の導入

事象提示	教師による登場人物に宛てた2種類の手紙
単元の学習課題	物語の登場人物と自分と比べて読み、思ったことを手紙に書いて友達と伝え合おう。
話し合い	登場人物に宛てた自分と比べる手紙を書くために解決すべきことについて想定して話し合う。
<b>「単元を貫く『自分事の問い』」</b>	
○ 物語に出てくる人は、どんなことをするのだろうか。	
○ (物語に出てくる人と自分を比べて) 自分だったらどうするだろうか。	

「つかむ・見通す」過程において、1学期教材「スイミー」の登場人物「スイミー」に宛てて書いた2種類の手紙を提示する。「スイミー」のしたことや言ったことについて、自分の考えや体験と比べて書いてあるものとそうでないものを比較することで、比べて書くことに興味・関心をもつことができるようにする。その後、「スイミー」のしたことや言ったことと自分とを比べて思ったことを話し合う活動を通して、登場人物と自分を比べることに対する面白さに気付くことができるようにする。そして、単元の学習課題を提示し、他の物語で同様の活動に取り組むためには、どのようなことを学んでいかなければならないか話し合う。そうすることで、選んだ物語を読んだり、登場人物と自分とを比べたりすることへの必要感や切実感を抱き、「自分事の問い」をもつことができるようにする。

(2) 「自分事の問い」をもって主体的に学ぶ子どもを育てる単元の展開

「つかむ・見通す」以降の過程では、単元の初めに立てた学習計画を確認したり、位置付けられた活動に取り組む価値を見いださせたりすることで一単位時間における「自分事の問い」をもつことができるようにする。

「調べる・深める」過程では、教材文「わたしはおねえさん」を読む学習において、登場人物のしたことや言ったことにサイドラインを引き、登場人物の気持ちを考えることで、自分と比べて登場人物の考えが自分と似ているか違うかという観点で感想をもつ学習に取り組むことができるようにする。そして、登場人物の気持ちを想像して自分と比べた手紙を書きためていくことで、単元を通して「自分事の問い」をもち続けることができるようにする。さらに、並行読書で選んだ本の登場人物と自分と比べて心に残った部分を選んだり、それに対する感想を付箋紙に書き込んだりする活動に取り組むようにする。そうすることで、比べて読むという学びの高まりを実感し、その後も主体的に学び続けることができると考える。

「まとめる・広げる」過程では、「調べる・深める」過程の各時間の最後に取り組んできたことを基に「くらべレター」を書くことで、登場人物のしたことや言ったことについて書き抜き、自分と比べて感じたことや自分がこれまでに経験したことを書いて発表し合うことができるようにする。

過程(時)	単元(教科書)	主な学習活動	学習課題 □「自分事の問い」	教師の指導・評価 ◇ICT活用
つかむ・見通す            調べる・深める(4)           まとめる・広げる(4)           高める・味わう(1)	「読むこと」 エ 物語を読んで、自分と比べて感想を書く言語活動「くらべてみたよ、あなたとわたし」(手紙「くらべレター」)	<ol style="list-style-type: none"> <li>教師の書いた2種類の手紙を読み、気付いたことを話し合う。</li> <li>単元の学習課題をつかむ。</li> <li>物語の登場人物と自分と比べて読み、思ったことを手紙に書いて友達と伝え合おう。</li> <li>単元の学習課題の解決へ向けて課題を出し合い、解決への「<b>単元を貫く『自分事の問い』</b>」をもつ。【<b>本時</b>】</li> <li>学習計画を立てる。</li> <li>全文を読み、各場面の様子や主な出来事を捉える。</li> <li>登場人物の行動や気持ちを考え、自分だったらどうするか考える。             <ul style="list-style-type: none"> <li>すみれちゃんはどうかな。</li> <li>すみれちゃんとはどんな子どもなのか考え、自分と比べる。</li> <li>かりんちゃんに落書きされたときのすみれちゃんの気持ちを考え、自分と比べる。</li> <li>穏やかに対応したすみれちゃんの気持ちを考え、自分と比べる。</li> </ul> </li> <li>共通教材の登場人物である「すみれちゃん」に自分と比べた「くらべレター」を書く。</li> <li>並行読書してきた本の登場人物と自分とを比べて「くらべレター」を書く。</li> <li>手紙を読み、感じたことを伝え合い、本単元の学習を振り返る。</li> </ol>	<input type="checkbox"/> <p>どんな手紙だったらその本を読みたいと思うのかな。</p> <p><b>物語に出てくる人はどんな人でどんなことをするのだろう。自分だったらどうするかな。</b></p> <p>すみれちゃんに、「くらべレター」を書くために</p> <p>すみれちゃんにはどんなことをしているのだろう。自分と似ているところがあるかな。</p> <p>かりんちゃんに落書きされたとき、すみれちゃんはどんな気持ちだったのだろう。自分だったらどうするかな。</p> <p>すみれちゃんは、なんで怒らなかったのだろう。自分だったらどうするかな。</p> <p>手紙ですみれちゃんに伝えたいことは何かな。</p> <p>他の本の登場人物は、自分と似ているかな。</p> <p>単元の学習を通して、自分はどんな力を身に付けることができたのかな。</p>	<p>◇ ICT活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習の「スイミー」のしたことや言ったことについて自分の体験や考えと比べて書いてある手紙とそうでない手紙を比べることで、書き方の違いに気付くことができるようにする。</li> <li>2種類の手紙を電子黒板上に提示することで、比較することができるようにする。</li> <li>登場人物に宛てた自分と比べる手紙を書くために解決すべきことについて想定して話し合うことで、「単元を貫く『自分事の問い』」をもつことができるようにする。</li> </ul> <p>登場人物と自分を比べて書くために、進んで教材文や選んだ本を読もうとしている。【<b>国語への関心・意欲・態度：発表、ノート</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物のしたことや言ったことの中から自分と比べて心に残った文や言葉にサイドラインを引くことで、登場人物の気持ちを理解することができるようにする。</li> <li>共通教材や並行読書で読む本の中の登場人物と自分を比べ、感じたことを付箋紙に書くことで、手紙を書く時に活用することができるようにする。</li> <li>落書きされたときのすみれちゃんの様子を動作化することで、すみれちゃんの気持ちを理解することができるようにする。</li> </ul> <p>物語の展開に即して、登場人物の行動を整理しながら読み、登場人物の気持ちを豊かに想像しながら読むことができる。【<b>読む能力：発表、ノート</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>試しの手紙を書くことで、「くらべレター」の書き方を理解することができるようにする。</li> </ul> <p>登場人物のしたことや言ったことの中で印象に残った言葉や文について書き抜き、自分と比べて感じたことや自分がこれまでに経験したことを書いて発表し合うことができる。【<b>読む能力：手紙</b>】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の選んだ本に書きためた感想の付箋紙を活用することで、手紙にまとめることができるようにする。</li> <li>お互いの書き方のよいところを伝え合ったり、これまでの学びをノートに書いたりすることで、本単元で身に付けた力を実感することができるようにする。</li> </ul>

8 本 時 (1 / 11)

(1) 目 標 登場人物と自分を比べた感想を手紙に書こうとする意欲をもつことができる。

(2) 展 開    は教師の言葉掛け    は予想される子どもの反応    は「自分事の問い」 ◆ は重点評価項目 ☆はICT活用の留意点

過程(分)	主な学習活動と予想される子どもの反応	教師の指導
つ見 か通 むす (12)	<p><b>1 2つの手紙で違う部分について話し合う。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">この2つの手紙はどこが同じでどこが違うかな。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">スイミー宛てに書いているのは同じだ。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">スイミーと先生を比べているのが違う。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">違うところには、どんなことが書いてあるかな。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">こっちの手紙には、「自分だったら」とか「自分も同じで」という言葉が書いてあるよ。</div>	<p>○ 「スイミー」のしたことや言ったことについて、自分の考えや体験と比べて書いてあるものとそうでないものを比較することで、比べて書くことに興味・関心をもち、本単元の学習に向けて主体的に取り組むことができるようにする。</p> <p>○ 手紙をワークシートとして配布し、「自分だったら」や「自分も」という言葉に線を引かせることで、登場人物と自分を比べていることに気付くことができるようにする。</p>
調深 べめ る (10)	<p><b>2 「スイミー」のしたことや言ったことと自分とを比べて思ったことを話し合う。</b></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">ぼくだったら、おそろしい魚から逃げることはできないかもな。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">わたしも、新しい仲間を見つけたら嬉しくて声を掛けるよ。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">わたしは、「スイミー」みたいに仲間を大切にすけど、あんな勇氣はないかもな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">自分だったら…と考えてみてどう思いましたか。友達の考えを聞いてどう思いましたか。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">同じ「スイミー」を読んでも「スイミー」と自分を比べると感じる事がみんな違って面白い。</div>	<p>☆ 電子黒板上に手紙を提示し、線を引かせることで、比べている言葉を全体で確認することができるようにする。</p> <p>☆ 「スイミー」の場面絵を電子黒板に提示することで、「スイミー」の物語を想起することができるようにする。</p>
ま広 とげ め る (15)	<p><b>3 単元の学習課題を確認する。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">物語の登場人物と自分と比べて読み、思ったことを手紙に書いて友達と伝え合おう。</div> <p><b>4 単元の学習課題を解決していくために、どんな学習が必要か考える。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">登場人物と自分を比べた手紙を書くために、どんなことを学習していかなければいけないかな。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">どんな物語なのか読んで、登場人物のことを知りたい。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">自分だったらどうするか、考えたいな。</div>	<p>○ グループごとに「スイミー」と自分とを比べる話し合いをすることで、単元の学習に向けて意欲を高めることができるようにする。</p> <p>○ グループごとに話し合った結果を全体で共有することで、登場人物と自分を比べるという単元の学習課題を焦点化することができるようにする。</p> <p>○ 単元の学習課題を基に、解決すべき内容を話し合うことで、「単元を貫く『自分事の問い』」をもつことができるようにする。その際に板書を手掛かりにすることで、「自分事の問い」をもちやすくすることができるようにする。</p>
高味 めわ る う (8)	<p><b>5 「単元を貫く『自分事の問い』(学習すること)を確認する。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">物語に出てくる人はどんなことをする人なのだろうか。自分だったら、どうするかな。</div> <p><b>6 並行読書の本について知る。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">どの本でくらべレターを書いてみたいですか。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">ぼくは、この本を読んでくらべレターを書いてみたいな。</div>	<p>○ これから並行読書で取り組んでいく本の紹介を聞くことで、単元の学習の見通しをもち、読書意欲を喚起することができるようにする。</p> <p>◆ 登場人物と自分を比べた感想を手紙に書こうとする意欲をもつことができる。</p> <p style="text-align: right;">【国語への関心・意欲・態度：発表・ノート】</p>